

Please join us !

大阪おおさかの街

— for the city of Osaka —

時を遡る大阪再発見の旅 大阪歴史博物館

大阪市中央区大手前に、平成13年11月に開館した大阪歴史博物館があります。常設展示には古代から近現代に至る大阪の変遷を実寸大に再現し、模型、大型映像等を用いた体験的展示と各時代の豊富な実物資料で紹介しています。中でも7〜10階の古代から近代の大阪を展示するフロアは大阪再発見にふさわしい展示内容です。ここでは古代に存在した難波の宮に触れてみます。

古代大阪に首都があった

大阪歴史博物館南に難波宮址がありますが、ここに今から1350年ほど前に首都が置かれていた史実があります。6〜8世紀にかけて日本を含め東アジア、朝鮮、中国は覇権争いをしていました。このような時代に難波の宮が建設されたのは、645年に起こった大化の改新がきっかけでした。権力を握っていた蘇我氏が斃れるも、飛鳥では有力豪族の確執が残り、地理的にも朝鮮、中国の進んだ政治体制を取り入れられる大阪で、宮室中心に政治の刷新を図ったとの説があります。その新首都難波の宮がはたしてどこにあったのが議論となり、考古学者山根徳太郎氏がその全貌の解明に挑戦します。



大阪歴史博物館

魅せられた2枚の古瓦

山根徳太郎が歴史への関心を示したのは中学生の頃聞いた阿弥陀が池の伝説でした。西区の堀江に捨てられた百済から渡ってきた仏像を祀ったところ、疾病が流行ったのでその仏像を阿弥陀が池に捨てたという言い伝えです。信じられなかった徳太郎は納得するまで調べたそうですが、この探求心が歴史の大発見につながるのです。25歳で神戸の女学校の歴史の教師となり、その後大阪市民博物館の歴史担当に就きました。ある日、民間の古い話を取材していた折り、後の生涯を左右する運命的な出会いがありました。当時大阪にあった陸軍大師団の技師をしていた歴史好きの置塩章氏に見せてもらった奈良時代の古瓦です。それは陸軍の砲兵工廠の地表面6尺下から出てきた蓮華文と重圈文の2枚の円瓦でした。置塩氏は幻の難波の宮に関連するものと考え、歴史家に見せましたが相手にされません。しかし、徳太郎はこの瓦を一見しただけで魅せられ、難波の宮発掘に着手します。

飽くなき発掘調査

すぐにでも瓦の出たところを掘りたかったが戦時中のこと。まして陸軍の用地内で発掘はできなかつたのですが、終戦によって法円坂付近の軍関連の施設はその任務を解かれ、跡地に新たな施設が建ちはじめました。この時徳太郎は大阪市立大学に奉職し、大阪城趾研究会にも加わり大阪城周辺の様々な研究を行っていました。ここで再び置塩氏と30年ぶりの再会。瓦は置塩氏の手元になく防空壕の中に埋もれたままでした。早速その場所を掘り返すと幸い瓦は無傷で現れました。昭和27年同大学を定年退職すると発掘調査一筋に取り組み、建設ラッシュの法円坂の工事現場に日参しました。貴重な遺跡が破壊されるのが耐え難い思いで、古瓦を集めていると棟梁がいろんな瓦をみせてくれましたが、そんなものじゃないと絵を描いて渡すと現場事務所に張ってくれたりもしました。昭和28年のある日、市営住宅から鷗尾しびの大きな破片が見つかり、ここに御殿があったと確信します。しかし、鷗尾の瓦だけでは難波の宮の証明にはなりません。たしかな証拠を求めて昭和29年2月第一次発掘調査に着手。いくらかの瓦と柱穴が見つかります。第2次調査ではトラック3台の瓦が見つかり徳太郎を勇気づけます。だが、宮殿建築の特徴である礎石は出ません。世間はこれは難波宮ではない。山根の頭の中だけにある山根の宮だ。難波宮にかけて、山根の宮も難破したかと揶揄されました。それでも自費で調査は続けます。昭和31年夏、第6次調査の結果、整然と並んだ柱穴が見つかりました。おそらく回廊の柱穴かと推定されますが、ここでも礎石は見つかりません。しかし以後5年間、6度にわたる発掘調査で見つかった柱穴をたよりに大極殿の位置を推定することはできました。昭和36年2月、それをたよりに第13次発掘調査を開始。測量で推定した大回廊の中軸線から四方6¹/₂角にトレンチ(塹壕)を入れると南と東と西に小石敷が残っていて、その中に境界が外してありました。さらにその中に2段ほど基壇を掘った土があり、階段を抜いたものに違いないと確信。この調査で大土壇と仮称した遺跡は①東西推定43¹/₂、南北21¹/₂、階段の長さから推定して高さ2¹/₂、南北両側とも3カ所つつ石段があったと判定される②内裏の前面中央に位置し、その背後に回廊を伴う付属建物が存在した③宮殿相互の距離が平城宮の内裏・小安殿・大極殿などの距離感覚に似ていることから、発掘調査を始めて11年目に聖武朝大極殿と認められました。偶然手にした瓦を手がかりに執念で難波宮を明らかにした徳太郎の人生は私たちに挑戦の意欲をかき立ててくれます。博物館・NHK大阪放送局の地下に難波宮の倉庫群と遺構が保存され、見学可能となります。



大極殿 南中央階段跡

※ 写真提供 大阪歴史博物館

大阪歴史博物館

大阪市中央区大手前4の1の32

06・6946・5728

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞